

グラフで見る中国経済 2021年2月号(No. 141)

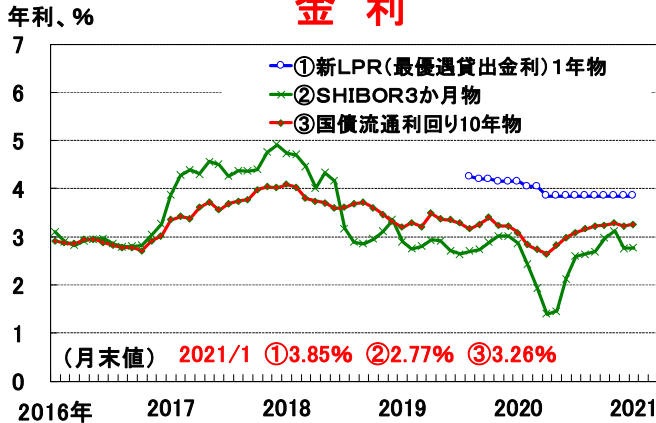
中国の2020年10~12月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+6.5%(前期は同+4.9%)と、2年ぶりの高い伸びとなった。10~12月期は、通関輸出が前年比+16.7%と、米国向けを中心に約8年ぶりの高い伸びを記録した。個人消費の動きを表す小売売上高も同期に同+4.6%と、雇用・所得情勢の改善を受けて、前期(同+0.9%)に比べて伸びが高まった。ただ、2021年1月に入り、北京市などで新型コロナの市中感染が再度拡大しており、該当地域の市民の外出や移動が制限されている。先行きこうした外出・移動制限地域が拡大すれば、景気が再び減速する恐れがある。

【足元の景気判断】

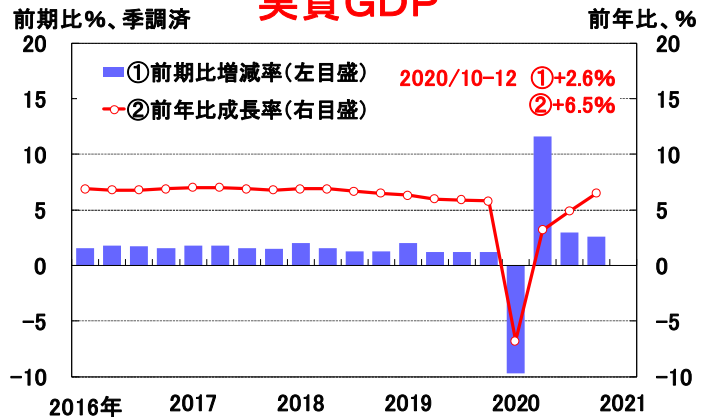
指標	景気全般	輸出	固定資産投資	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↑	↑	↑	↑	↑	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

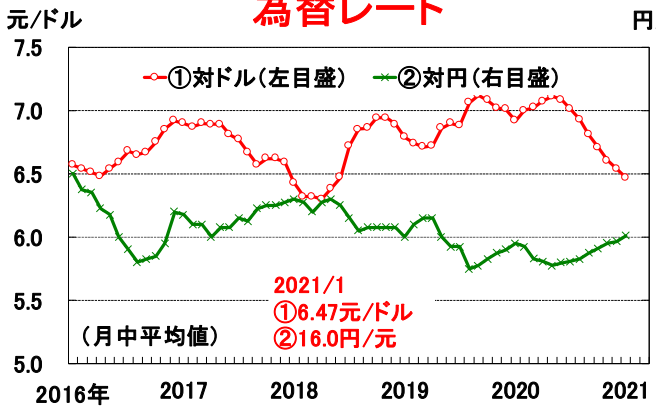
金利



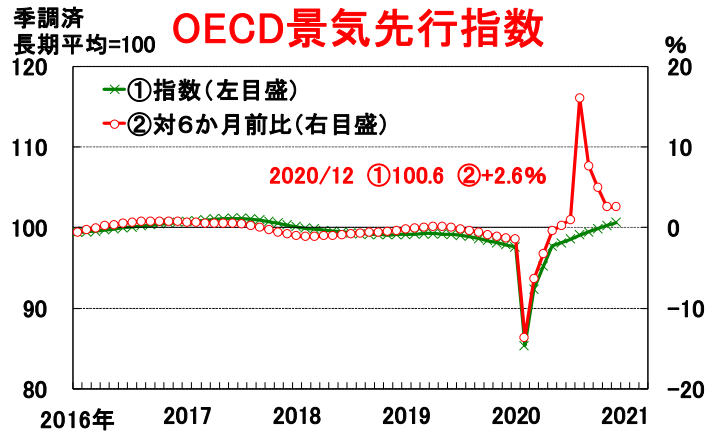
実質GDP



為替レート



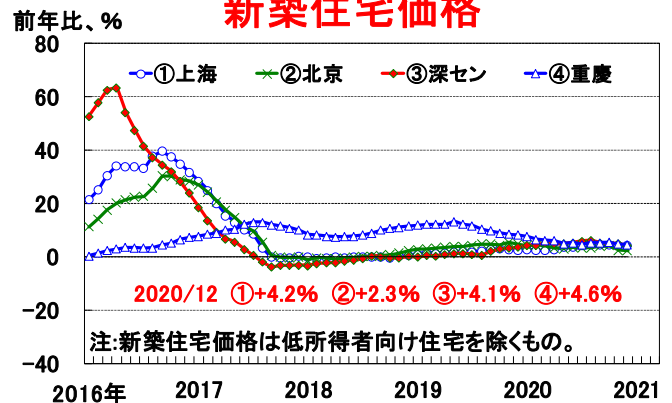
OECD景気先行指数



上海総合指数(株価)



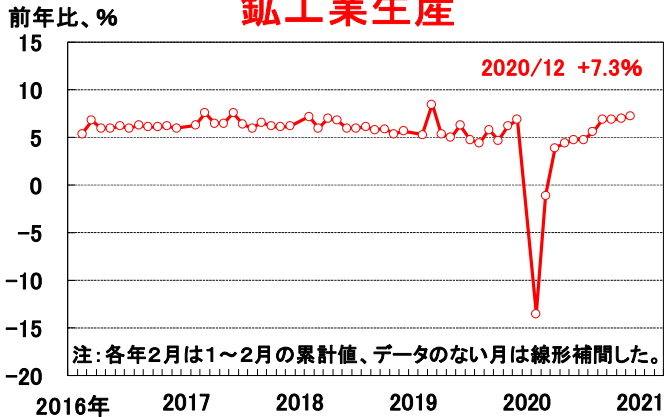
新築住宅価格



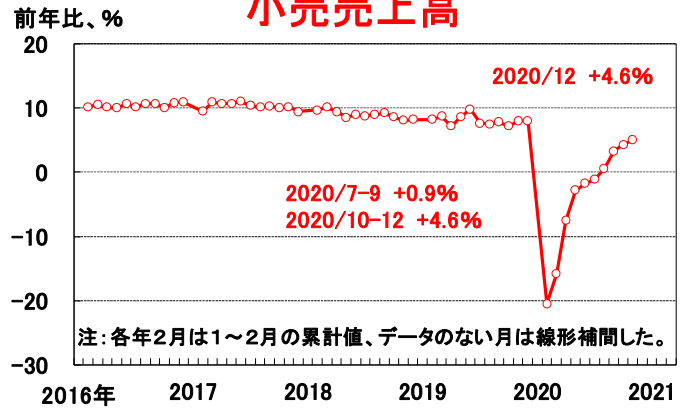
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

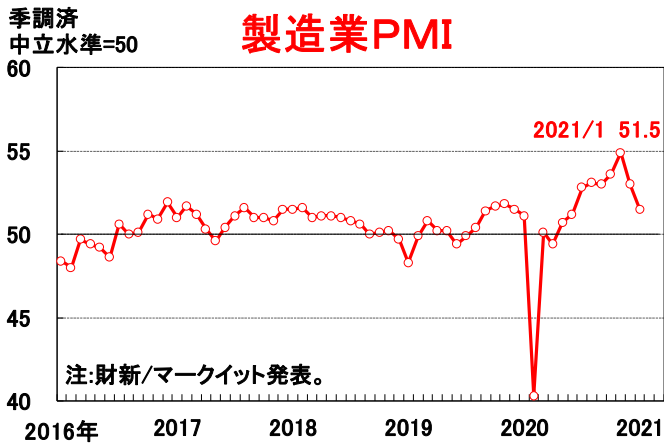
鉱工業生産



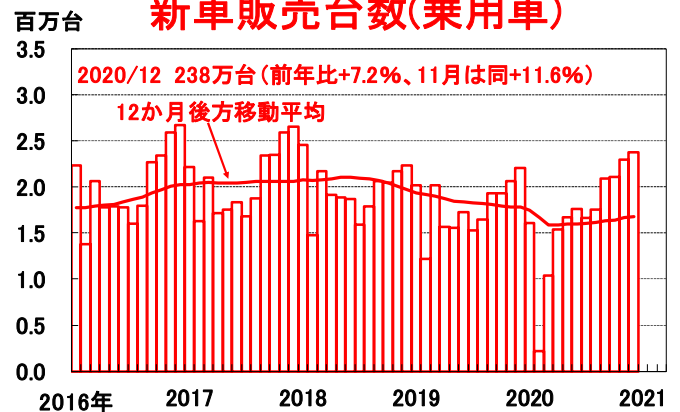
小売売上高



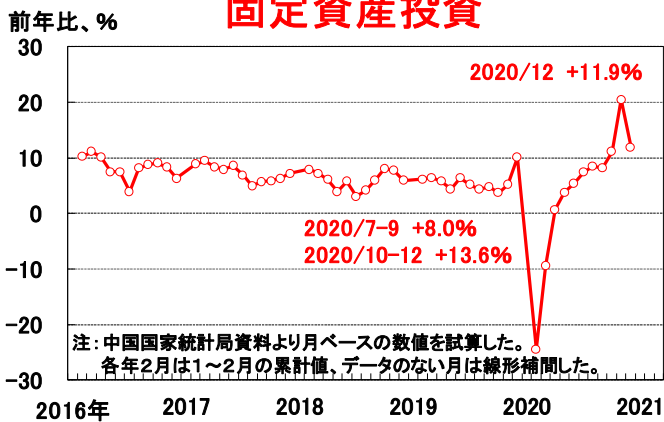
製造業PMI



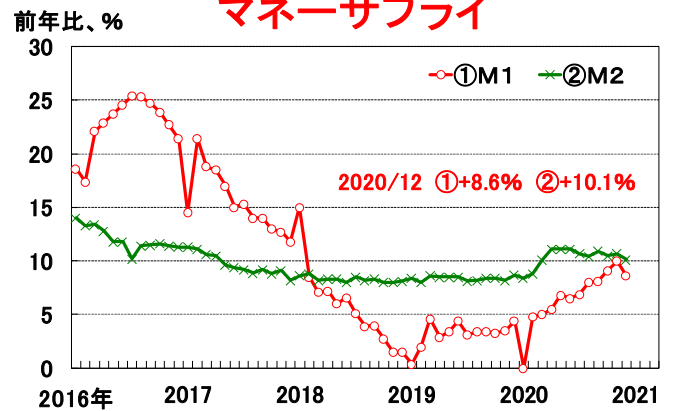
新車販売台数(乗用車)



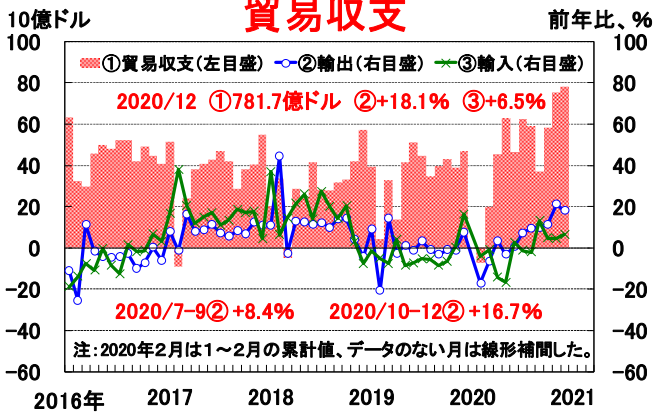
固定資産投資



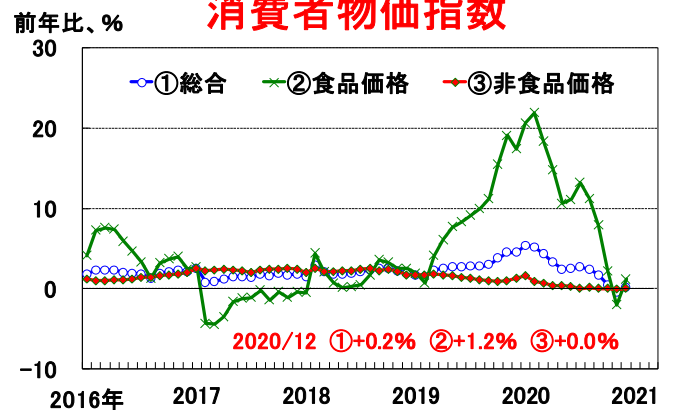
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。